

令和 6年度

事務事業評価表 (令和 5年度 の実績評価)

記入年月日
令和 6 年 4 月 1 日

事務事業名		認知症施策推進事業				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続	継続	事務事業No.	010604000987
		総合計画の施策名				単独/補助	補助	所属課	040501
		0106 高齢者福祉の推進						課長名	高齢福祉課
		政策名						グループ	地域包括支援グループ
		01 子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり						担当者名	
		施策名							
		06 高齢者福祉の推進							
		手段名							
		04 ④認知症施策の推進							
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目						単年度繰返し (平成28年度~)			
会計 款 項 目 事業 細						期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			
06 05 04 05 01 00						介護保険特別会計 認知症初期集中支援推進事業			
法令根拠						介護保険法 桜川市認知症地域支援・ケア向上事業実施要綱			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<ul style="list-style-type: none"> 認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を平成30年4月1日~配置。認知症の早期診断・早期治療、本人の状態に応じて必要な医療、介護サービスに繋ぐ支援体制を構築する。 認知症の専門医療機関を含む医療機関や介護サービス、地域の支援機関の連携を図るための支援や認知症の人やその家族を支援する相談業務を行う認知症地域推進員を配置し、地域における支援体制の構築を推進する。 認知症の方や家族が孤立せず生活出来るように認知症カフェの設置を行い、支援する。 <p>(予算は認知症初期集中支援推進事業、認知症地域支援・地域ケア向上事業の合計)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①認知症初期集中支援チーム ・対象者宅への訪問及び支援 ・チーム会議の開催 (支援方針の検討 外部チーム員への報償支払い) ・医師会及び近隣医療機関との連携 ・チーム検討委員会の開催 ②認知症地域支援推進員 ・認知症地域ケア推進員研修の受講とその手続き、受講費の支払い ・認知症の人やその家族への相談業務 ・認知症の関係機関との連絡調整支援 ・認知症ケアパスの普及 ③認知症カフェ委託契約

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
<ul style="list-style-type: none"> ・初期集中支援チーム、地域支援推進員研修受講 ・認知症初期集中支援チーム検討委員会の開催 ・初期集中支援チームマニュアル、使用帳票の検討など ・認知症ケアパスの普及 ・認知症カフェの開設 	認知症カフェ実施箇所	箇所	1.00	1.00	2.00	2.00	3.00
	認知症初期集中支援チーム訪問数	回	21.00	22.00	23.00	24.00	26.00
	認知症初期集中支援チーム会議開催数	回	3.00	3.00	4.00	4.00	4.00
	認知症初期集中支援チーム検討委員会開催数	回	1.00	0.00	1.00	1.00	1.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度
認知症の人とその家族 認知症の人を取り巻く地域、医療、福祉関係者	相談件数	件	55.00	68.00	70.00	75.00	80.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度
認知症の方や家族が安心して暮らせる地域の体制を構築する。また、住民が認知症の予防、早期発見、早期治療に結び付く行動ができる。	認知症カフェ参加者数 (延)	人	190.00	183.00	200.00	210.00	220.00
	認知症初期集中支援チーム支援者数	人	4.00	3.00	5.00	6.00	7.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費	財源内訳	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)	期間限定総投入量
県支出金	千円	92	94	156				
地方債	千円	0	0	0				
使用料・手数料	千円	0	0	0				
その他	千円	110	114	186				
一般財源	千円	92	94	156				
事業費計 (A)	千円	479	491	810				
正規職員従事人数	人	3.00人	3.00人	3.00人				

05年度事業費 実績 (千円)

06年度事業費 予算 (千円)

07 報償費	36	01 報酬	45
10 需用費	71	07 報償費	242
11 役務費	1	08 旅費	40
12 委託料	240	10 需用費	101
13 使用料及び賃借料	55	11 役務費	9
17 備品購入費	10	12 委託料	240
18 負担金補助及び交付金	78	13 使用料及び賃借料	55
		18 負担金補助及び交付金	78
合計		合計	
491		810	

(4) 当該年度の実施内容

06年度の事業内容

07年度の事業内容

08年度の事業内容

※年度ごとに事業内容を記入する	認知症カフェで活動してきたボランティアがチームオレンジを立ち上げたため、活動の周知を協力していく。	認知症初期集中支援チームによる本人及び家族への支援、認知症カフェ、チームオレンジ活動への支援	認知症初期集中支援チームによる本人及び家族への支援、認知症カフェ、チームオレンジ活動への支援
-----------------	---	--	--

事務事業名	認知症施策推進事業	事務事業No.	10604000987	所属課	高齢福祉課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
認知症施策は、平成27年の介護保険制度改正、認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）に基づき実施する。認知症初期集中支援チームの設置、認知症地域支援推進員の配置は、地域支援事業として平成30年度までに全ての市町村での実施が義務づけられている。令和元年「認知症施策推進大綱」が示され、認知症施策の更なる推進が求められている。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
かかりつけ医から専門医療機関へのスムーズな連携体制づくり、家族の精神的な負担の緩和に取り組んでほしい。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 当事業を実施することで、認知症の人とその家族を支える体制づくりに繋がるため、高齢福祉の推進に結びついている。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 地域で支えあう体制づくりが必要であり、地域包括ケアシステムの構築に合致している。
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input type="checkbox"/> 向上余地がない 認知症初期集中支援チームによる支援は、認知症初期集中支援チーム検討委員会で活動の検討を行っており、助言を踏まえ活動の改善を図っている。また、市民からの相談窓口等の啓発により、早期の解決に期待ができる。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 今後、ますます認知症の人の増加が見込まれ、事業を廃止することで支援が滞り、介護者の負担が増加することが予想される。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 実施が義務付けられている事業であり、類似事業はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input type="checkbox"/> 削減余地がない 報償費、委託料が主な事業費である。認知症の人が増えることから相談、支援件数の増加も見込まれ、削減の余地はない。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 介護保険料が財源となっており、すべての高齢者や家族が対象となっている為、公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																											
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	認知症初期集中支援事業では、サポート医や関係機関との連携を図り対象者3名の支援を行い、医療や介護サービスへつながることができた。認知症カフェの参加者は横ばいである。認知症カフェで活動してきたボランティアが、次年度からチームオレンジ活動をスタートする。活動の方向性や活動拠点について一緒に準備を進めている段階にある。																											
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																													
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																													
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																													
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 （終了・廃止・休止の場合は記入不要）																											
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		（複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																											
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下	維持				低下			
		コスト																											
		削減	維持	増加																									
成果	向上																												
	維持		○																										
低下	維持																												
	低下																												
		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ②																											

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>